

〔第3種郵便物認可〕

永井路子さん

# 家伝の古文書寄贈

## 茨城大「変革求めた幕末庶民」



古文書の説明をする永井さん(中央) 〓水戸市文京2の茨城大学で

古河市で幼少時代を過ごした直木賞作家の永井路子さん(84)が、茨城大学(水戸市文京)を訪れ、永井家に伝わる江戸時代の古文書を

寄贈した。永井さんは「幕末の庶民が地域を越えてまとなり、時代の変革を求めていった様子がわかる」と話し、研究に役立つよう期待している。

寄贈されたのは江戸時代後期に国学などの影響を受け、関東を中心に広がった富士山を信仰する山岳宗教「不二講」に関する書簡や書物、短冊など約100点。

不二講は、努力の必要性を説く思想で、永井さんの祖先にあたる商人の初代・八郎治が、六代目教祖の弟子だった。八郎治は古河のリーダーとして地域で学問や思想を教えていたと伝えられ、当時

の史料が永井家で代々保管されてきた。史料からは、地方商人の経済実態のほか、藩を越えた文化や学問の交流、庶民と朝廷との結びつきなどが窺はれるという。

同大では詳しい研究を進めると共に、同大図書館で学内外に公開していくという。

【山内真弓】